

## 秦野市立大根中学校

研究テーマ：「ICTの授業活用について」～学習者の意欲向上と職員の業務改善を目指して～

### 1、実践の目的

文部科学省が提唱するGIGAスクール構想の流れを受け、秦野市でも令和3年度から、学習用端末が生徒一人に1台ずつ配備されている。子どもたちがICT端末を日常的に活用できるようにするため、新たな学び方を開拓することがこれからの課題と言える。また、職場の大きな課題である職員の多忙化や長時間労働の改善を、ICTの活用を通して実現する方法を模索したいと考え、このテーマを設定した。

### 2、実践の内容

#### (1) 研究内容

5月24日(火) 第1回研究推進委員会

テーマ設定と今年度の取組みについて

6月20日(月) 研究全体会

テーマと取組みについて全職員で共有

8月24日(水) 第1回校内研究会

ICTマイスターによる「デジタル職員室」の講習会

8月25日(木) 園小中夏の合同研修会

Google for EducationによるICTの活用について

10月19日(水)

第2回校内研究会(講演会)

講師：青山学院中等部情報教育担当講師  
安藤 昇 氏

1月30日(月) 第2回研究推進委員会

研究の振り返りと反省

2月6日(月) 研究全体会

研究のまとめと来年度に向けて

#### (2) 授業活用について

今年度は、子どもたちが意欲をもって学習に取り組めるようなICTの活用方法について実践例を学んだり、それぞれが工夫して実際に職員自身で取り組んでみることを1つの目標として設定した。職場にはICTに詳しい職員も増えてきたが、今までほとんど使った経験のない職員もおり、多くの職員が安心して授業で端末を使えるように、ICTマイスターを中心に様々な方法で情報発信や啓発活動を行った。

まず、GoogleサイトにICT活用のページを作り、そこにマイスターが、授業で使いやすいツールや便利な機能、他校の取組みなどの動画をアップし、職員がいつでも見て活用できるようにした。

10月の校内研究会では、青山学院中等部情報教育担当講師で、Youtubeにも数多くの動画を投稿している安藤昇先生をお招きし、生徒たちの興味関心を引き出し、授業を楽しくする方法や工夫について、映像を交えて実践的な講義をしていただいた。



### (3) 職員の業務改善について

ICTを活用することで教員が教材やプリントを作成する時間が短縮されるばかりでなく、Canvaを使ってプレゼンテーションを行ったり、Qubenaのドリルを授業のまとめに使うことで、個々の生徒に応じた指導も効率的にできるようになった。

また、「デジタル職員室」として、必要な事務作業を1つにまとめた取組みも始めた。職員の健康観察、連絡事項(日報)、生徒の欠席連絡などに「デジタル職員室」のページからすぐにアクセスすることができ、職員会議の資料や、先述のICT活用の動画もここから見ることができる。また年度末反省などにおいてもFormsを作成し、各自が直接入力することができるようになり、今までプリントの編集や印刷、冊子づくりにかかっていた手間をなくすことで、業務改善やペーパーレス化による資源の節約にもつながっている。



## 3、実践の成果

### (1) 教師の変容

今年度、校内研究として取り組むことで、積極的に授業でICTを活用しようとする意識が高まった。職員アンケートによると、ICTの効果的な活用について動画等で研究し、実際に授業に取り入れたという職員もいる。また、昨年度よりもICTを活用する場面が増えたという声も聞かれ、さらに新しい取組みにチャレンジしていきたいと

考える職員も多い。ただ、活用の頻度には差があり、ほぼ毎時間授業で使っているという者から、まだ一度も使ったことがない者までいるのが現状である。ICTに不慣れた職員が抵抗なく使えるようになる職場を目指したい。

「デジタル職員室」は毎朝出勤したらすぐにアクセスする職員が多く、予定等の確認がスムーズになり、連絡事項も確実に伝わるようになった。学校以外の場所でもいつでもアクセスすることができるので助かるという声もあった。

### (2) 子どもの変容

各教科の授業では、生徒もタブレット端末の使い方に慣れてきて、様々な場面で積極的に使いこなしている様子が見られる。普段の授業ではなかなか集中できない生徒が、タブレットを使う授業では目を輝かせて授業に取り組む姿も見られるようになった。

## 4、今後の展開

タブレット端末の使用頻度が増えたことで、上手に使いこなす生徒が多くなってきた反面、慣れてきたことで使い方が雑になったり、使い方のルールを守れなくなった生徒もいる。来年度は生徒会活動の一環として、生徒による「ICT委員会」を発足し、生徒が主体的にICT活用について考え、ICTスキルを身に付けることで、正しい情報モラルを育成するという計画も進行中である。

職員からは、授業でタブレットを使う時間と他の活動時間の兼ね合いが難しいという声も聞かれる。ICTをバランスよく活用しながら、効果的に学力や生きる力、人間力を培う授業をこれからも模索していきたい。